



# いちき串木野市医師会 広報誌

## 医師会立脳神経外科センター



a joint undertaking

# vol.41

令和5年10月30日発行



## 「医療従事者の てんかんへのアプローチ」

国際抗てんかん連盟 (ILAE) 元第一副理事長  
日本てんかん学会 元理事長、旭川医科大学 名誉教授  
田中 達也 先生 (当院てんかん外来担当医)

P 2・3

片麻痺の方への基本介助方法 (移乗編)…………… P 4・5

転倒を予防して健康寿命をのばそう!…………… P 6・7

脳ドックのご案内…………… P 8・9

地域医療を支える 医師会会員病院紹介…………… P10・11

みんなの掲示板…………… P12





# 「医療従事者のてんかんへのアプローチ」

国際抗てんかん連盟 (ILAE) 元第一副理事長

日本てんかん学会 元理事長、旭川医科大学 名誉教授 田中 達也 先生 (当院てんかん外来担当医)

てんかんは発作症状が多彩で、治療が困難な病です。統計ではてんかん患者は人口の 0.8% を占めています (日本では約 100 万人)。その中でも、あらゆる抗てんかん薬の内服治療に抵抗する難治性のてんかんは、てんかん患者の 10-15% で、未だに治療法が確立できない難病です。しかも長期にわたって繰り返す発作により、知能障害やてんかん精神病などの性格変化をきたし、悲惨な quality of life に陥ってしまうことが知られています。

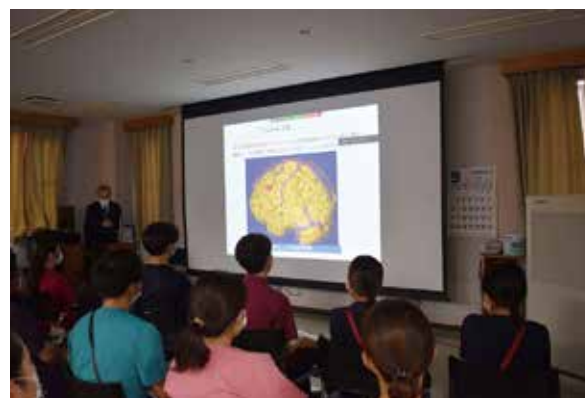


近年、コンピューター技術は飛躍的に進歩し、てんかん分類による診断が正確に行われるようになっていきます。高解像度の MRI による画像診断、デジタル脳波の解析の進歩、頭蓋内脳波のコンピューター解析、脳内の代謝や脳血流の解析など、次々と新しい診断技術が応用されています。さらに、難治症例にはてんかんの手術も注目されています。しか

し、手術を受けた症例の中には、術後も依然として発作が続いて、多剤の抗てんかん薬の服用が必要なケースも少なくありません。



この原因の一つとして個々の症例で、てんかん焦点の部位が多様で、てんかん発作の生じるメカニズムが複雑に異なることも、難治性てんかんの治療を困難にしています。このため、発作型に適した、抗てんかん薬による内服治療が必要になります。



私たちは、これまでに、実験動物を用いて、難治性てんかんのメカニズムについて、基礎的な研究を行って国際的な学

会でも発表してきました。これらの研究で得られた結果をもとに、難治性てんかんに対する様々な治療の有効性を検討してきました。



本講演では、てんかん外来での確定診断のためには、高解像度 MRI とデジタル脳波記録が重要であることを一緒に勉強致します。当院のてんかん外来は 7 月末の統計で 70 名以上 (60 歳以上は 42%、20 歳以下は 27%) になり、さらに少しずつ増えてきています。抗てんかん薬の選択については、国際的に応用されている難治性てんかんの最新治療についてもわかりやすく解説します。



難治性てんかんをいかに克服して、有意義な人生を獲得することが可能になるかまた、てんかんとともに生きていかなければならない患者さんの心のケアや家族の介護の問題も含めて、皆様と一緒により良い治療法やサポートを考えて行きたいと思います。





# 片麻痺の方への 基本介助方法 移乗編

- 移乗動作とは、ベッド⇔車椅子へ乗り移ることです。
- 右の図は、車椅子の部品の説明です。



## 車椅子の準備

- ベッド→車椅子では、座面の高さを同じ高さに調整する。



足はしっかりつける



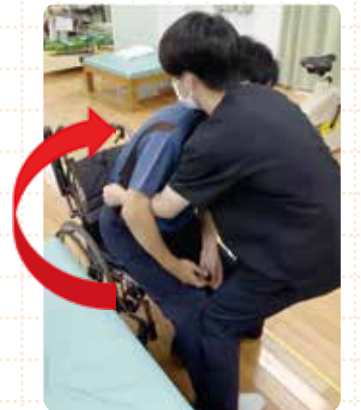
介助される人の肩を痛めないように脇の下を支えるのは気を付けましょう



身体をくっつけて前へ誘導しましょう



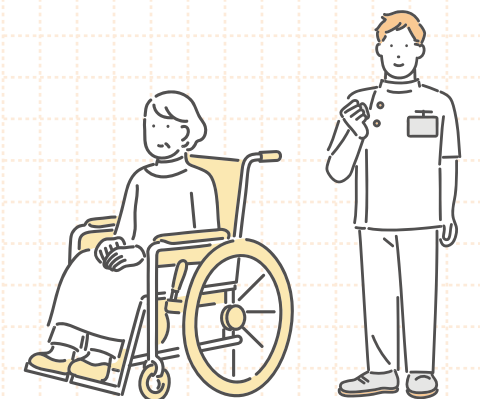
お尻を浮かせてゆっくりと身体を回します



## 移乗後の姿勢



- お尻が前に滑っていないか
- 身体が左右に傾いていないか
- 足置きに足が乗っているか
- 麻痺している側の腕が下に落ちていないか



## 注意点

- 介助は、力任せにすると介助される側だけでなく介助する側の怪我や腰痛などを引き起こす可能性も考えられます。少しでもお互いに負担の少ない動作を行い、少しでも移乗の介助におけるリスクの軽減を図っていきましょう。
- また、今回の介助方法は基本的な介助方法であり、全ての方に該当するわけではありません。症状や疾患により介助方法は異なるため、もしお困りの際は当院へご相談ください。

リハビリテーション部 理学療法士 西園 諒





# 転倒を予防して健康寿命をのばそう！

## はじめよう転倒予防！

「健康寿命」を短くする原因の一つに「転倒による骨折」があります。  
転倒を予防するために、まずその原因を確認しましょう。

### 筋力低下

加齢による筋力  
(特に下肢筋力) の  
低下



### バランス障害

加齢による  
バランス能力の  
低下



### 視力障害

視力障害で  
段差などを  
認識しづらくなり、  
危険察知能力が  
低下



### 足首の関節がかたい

大きく踏み出す  
ことができず、  
姿勢の立て直しが  
困難



### 環境面

少しの段差、  
滑りやすい床、  
薄暗さも転倒の  
原因



### 薬 剤

1 日に薬剤を  
5 錠以上飲んで  
いるなど  
薬の副作用により、  
めまいやふらつきが出現



### 靴

重い靴はつまずきやすく、  
厚底の靴は足裏からの  
感覚が鈍くなり、  
転倒の危険性



## 1 あなたの転倒リスク(危険性)をチェックしてみよう

- 転倒リスクチェック一覧表の作成と自己認識  
厚生労働省から出されている「**介護予防研修テキスト**」などを参考にしてください。

## 2 “転ばない”身体をつくろう - 転倒予防対策 -

- 身体のバランスを保つ
- 足の筋力を保つ
- 身体の柔軟性を保つ



## 3 “転ばない”ための日常生活のポイント

- 住まいを転倒しにくい環境に整備する
- メガネ、履物、杖など立って歩くための用具を適切に選ぶ
- 適切な薬の服用に心掛ける

### 高齢者の 転倒予防運動

高齢者の転倒は骨折に結びつきやすく、そのまま寝たきりにつながるおそれもあり、転倒予防のための運動をすることが大切です。

### ● 下肢の運動で「転ばない」身体をつくる

「転倒予防」のポイントは、「転ばない」身体を作ることです。そのためには、「身体のバランスを保つ」とことと「立つ、歩く際に必要な筋力を保っておく」ことが重要です。

下肢はたくさんの骨と関節で構成され、多くの筋肉が働いています。転倒予防に効果的な下肢の運動を継続的に行うことが大切です。

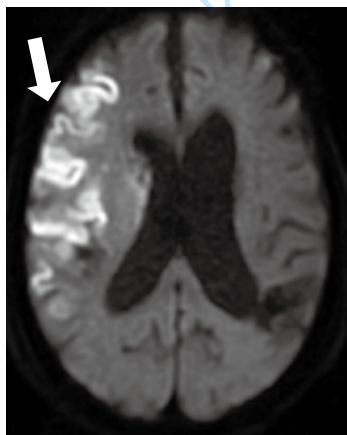




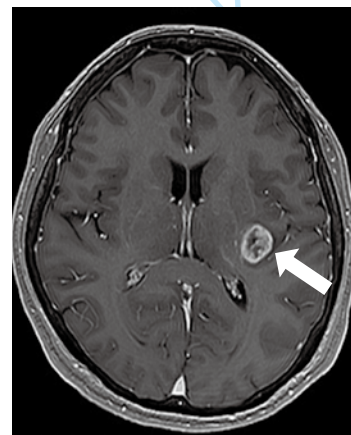
# 脳ドックのご案内

脳ドックでは、突然発症し、重い後遺症を引き起こす脳卒中や最近増加している認知症を早期発見し、早期からの予防・治療につなげ、検診をされた方の健康年齢を伸ばすことが目的です。

脳梗塞



脳腫瘍



脳動脈瘤



## 検査日時

火曜日、水曜日、木曜日  
12:00 ~ 15:00

## 申し込み

**完全予約制 ☎ 0996-32-9999**  
※お電話または外来受付に申し込み下さい

## 検査料

一人 38,500 円

|         |              |               |
|---------|--------------|---------------|
| いちき串木野市 | 補助金 26,000 円 | 自己負担 12,500 円 |
| 薩摩川内市   | 補助金 28,000 円 | 自己負担 10,500 円 |
| その他     |              | 自己負担 38,500 円 |

## 年に一回の脳ドックで笑顔で健康に過ごしましょう



アンギオ室

放射線室は、救急外来処置室に直ちに移動できる位置に有り脳血管疾患や外傷患者の血管内治療が可能です。緊急に治療が必要な救急患者に 24 時間いつでも迅速に対応します。



救急外来

当センターは、鹿児島医療圏に位置しており、いちき串木野以外にも、日置、川薩地域において、脳卒中に特化した病院です。救急外来は MRI や CT 室、血管造影撮影室が隣接された配置で有り、脳梗塞の疑いのある患者さんが搬送、受診された場合、医師・看護師だけでなく、放射線技師、検査技師、救急隊、などの他職種が連携してすぐに治療を開始できるように、検査、画像診断、血管内治療、脳外科手術など 24 時間対応出来る体制が整っています。

## 当日の流れ

受付 (12:00 ~)

外来処置室

看護師による問診、身長・体重測定、採血、検尿、腹囲測定

脳ドックの控え室 昼食 (各自持参)

外来処置室

- ・認知症検査 (希望者のみ)
- ・MRI 検査 所要時間 30 分

- ・頸部エコー 所要時間 40 分

- ・心電図・所要時間 5 分

診察室

・検査結果の説明  
(検査データの書類は後日、自宅に郵送します)

受付

・会計



医療法人 芳清会

## 串木野内科・循環器科



### ◆内科・循環器科・呼吸器科

理事長 / 有川 清猛  
住 所 / いちき串木野市中尾町 72 番地  
電 話 / 0996-33-2211  
診療時間 / 【月・火・水・金・土】  
午前 9:00～13:00  
午後 14:00～17:30  
【木】  
午前 9:00～13:00  
午後休診  
休 診 日 / 日、祝、木曜午後

#### 診療案内

| 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午 前  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 午 後  | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × |

平成元年開院、ベッド数 19 床の有床診療所です。「継続は力なり」「温かい心のもった診療」をモットーに、また、電子カルテ導入により業務を効率化し、患者様とお話できる時間を少しでも長くできるように努めております。

標榜科目でもあります循環器科、内科を常勤医 2 名、非常勤医 2 名で心疾患を主に内科一般に取り組んでいます。いちき串木野市医師会の先生方はもとより、鹿児島大学病院、鹿児島医療センター、鹿児島市立病院、川内市医師会立市民病院、済生会川内病院と幅広く連携し、地域住民の健康管理、合わせて生活習慣病を管理する「かかりつけ医」としての役割を担っております。

介護保険分野では、平成 17 年開設、グループホームさくらの丘も立ち上げ、「明るい笑顔を大切にします」をモットーにスタッフ一同心がけています。

医療法人

## 勝目眼科



### ◆眼科

理事長 / 勝目 紀一  
住 所 / いちき串木野市元町 200 番地  
電 話 / 0996-32-2237  
診療時間 / 【月・火・水・金】  
午前 9:00～12:00  
午後 14:00～18:00  
【木・土】  
午前 9:00～12:00  
午後休診  
休 診 日 / 祝日、木・土曜午後

#### 診療案内

| 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午 前  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 午 後  | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × |

当院は、串木野の元町商店街の一画にある開業して 77 年になる眼科です。

昭和 22 年に先代の勝目三人が開院、わたくしが継承して、昭和 55 年にコンタクトレンズ部と眼鏡部を隣設し 43 年が過ぎました。

その間平成 22 年に有床設備は休床し、現在は外来診療のみ行っています。私達の日常は視覚に頼っており、目のトラブルは思った以上に生活に支障をきたします。普段から目のケアに注意し、異常を感じたらすぐに眼科医に相談することが大切です。

当院では患者様のお一人お一人の体調や生活に配慮した心のこもった診察を心掛けています。特に白内障手術をはじめとして、内眼手術の必要な患者様は関連病院と協力しながら対応するように心掛けておりますので、お気軽に御相談下さい。

これからも地域の方々との触れ合いを大切に多くの方々に親しまれるような診療所を目指して職員一同で前進してまいります。

医療法人 照正会

## 京町内科・脳神経クリニック



### ◆内科・神経内科

院 長 / 宮之原 正和  
住 所 / いちき串木野市京町 43 番地  
電 話 / 0996-32-2855  
診療時間 / 【月・火・水・金】  
午前 8:30～12:30  
午後 13:30～17:30  
【木・土】  
午前 8:00～12:30  
午後休診  
※なお受付が午前 12 時、午後 17 時を過ぎる場合は、事前に電話連絡をお願いします。  
★診療時間外は留守番電話での対応になります。  
名前（フルネーム）と症状をお話し下さい★  
休 診 日 / 日、祝、木曜・土曜午後

#### 診療案内

| 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午 前  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 午 後  | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × |

平成 15 年の開院から 20 年が経ちました。一般内科と神経内科を中心に地域医療を行ってきました。

当地には医師会立脳神経外科センターという急性期脳神経疾患医療を行う施設がありますが当院はそのプライマリーケアとなるべく役割、また急性期・慢性期の医療を終えて在宅復帰された方の後方支援クリニックの位置づけにあると考え日々診療を行っています。

当院の主診療科は神経内科で脳卒中後遺症を中心に、パーキンソン病、脊髄小脳変性症などの通院可能な神経難病の方や頭痛、めまい、ふらつき、手足のしびれ・脱力などの脳神経症状を有する方の診療を行っています。

その他、地元住民の方のかかりつけ医として生活習慣病、感染症、特定・長寿健診、訪問診療（月 2 回の訪問）、往診、予防接種に加え頸部・肩・腰・上下肢の運動器異常に対して外来物理療法も取り入れ地域の方の生活向上に役立つよう努めています。

関連疾患、症状、各事項に対してお気軽に御相談ください。





# みんなの掲示板

## 脳外科センターに キッチンカーがやってきた



去る8月12日(土)脳外科センターにキッチンカーが登場しました。  
今回はお弁当系として“Cibo Kitchen”さん、  
カフェ系として“喫茶n°8”さんにお越し頂きました。  
病院×キッチンカーという意外な組み合わせでしたが、職員には大好  
評で今後もキッチンカーの登場を熱望する声をたくさん頂きました。日  
常業務に彩りを加え、仕事の活力となったこのイベント。また不定期で  
開催したいと思っています。

イベントプロジェクトチーム 浦底

### ホームページリンク先

公益社団法人  
いちき串木野市医師会



いちき串木野市医師会立  
脳神経外科センター

